

**調査票** (調査事項のみ収録)

**貯蓄に関する世論調査 (昭和63年)**

問1 お宅の家計では、この1年間に手取り収入(税引き後)の何%ぐらいを貯蓄しましたか。また、手取り収入のうちボーナスや臨時収入(税引き後)からは何%ぐらい貯蓄しましたか。

(営業や農漁業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的に家計にとどまる預貯金を含まないでお答えください。以下の質問についても同じです。)

(注) 本調査でいう貯蓄とは金融資産(問2-2に記載の貯蓄商品)であり、土地・住宅等の実物資産は含めません。

[手取り収入(ボーナスや臨時収入を含む)について]

- 1 年間手取り収入の  % ぐらい貯蓄した
- 2 年間手取り収入からは貯蓄は全くしなかった

[ボーナスや臨時収入について]

- 1 ボーナスや臨時収入の  % ぐらい貯蓄した
- 2 ボーナスや臨時収入からは貯蓄は全くしなかった
- 3 ボーナスや臨時収入はなかった

例えば、年間手取り収入(またはボーナスや臨時収入)100万円のうち

- ・12万円を貯蓄した場合 →   %
  - ・12万5千円を貯蓄した場合 →   %
- のように1%未満は四捨五入のうえご記入ください。

問2-1 お宅の家計の現在の貯蓄保有状況について、あてはまるものいずれかに○印をつけてください。

- 1 貯蓄を保有している →  問2-2①、②にお答えください
- 2 貯蓄を保有していない →  問2-2③にお答えください

問2-2 お宅の家計の現在の貯蓄商品別残高およびその合計はどのくらいですか。また、今後貯蓄をふやす場合どのような貯蓄商品にどのような割合で貯蓄しますか。それぞれ下表①、②欄にご記入ください。

貯蓄商品	① (現在の貯蓄残高)					② (今後貯蓄をふやす場合の商品別割合)	
	億	千万	百万	十万	万円		%
1 預貯金(除く郵便貯金)							
うち 定期性預貯金							
うち CD、MMC、大口定期預金、外貨預金							
2 郵便貯金							
うち 定期性貯金(定期貯金、定期貯金、積立貯金)							
3 金銭信託・貸付信託 (ビッグを含む)							
4 生命保険・簡易保険 (これまでに払込んだ保険料の総額。ただし、かけ捨ての保険は除く。)							
5 損害保険 (これまでに払込んだ保険料の総額。ただし、かけ捨ての保険は除く。)							
6 郵便年金・個人年金信託・年金保険 (これまでに積み立てた掛金の総額。厚生年金、国民年金、公務員共済など公的年金の掛金を除く。)							
7 国債・地方債 (都道府県市債を含む。時価<今の相場>で、ご不明なら額面でお答えください。)							
8 割引金融債・利付金融債 (ワイドを含む。時価<今の相場>で、ご不明なら額面でお答えください。)							
9 社債、公社・公団・公庫債等其他債券 (転換社債を含む。時価<今の相場>で、ご不明なら額面でお答えください。)							
10 株式 (従業員持株制度による株式を含む。時価<今の相場>でお答えください。)							
11 投資信託 (株式投信、公社債投信、中国ファンドなど。時価<今の相場>で、ご不明なら額面でお答えください。)							
うち 株式投信(時価<今の相場>で、ご不明なら額面でお答えください。)							
12 財形貯蓄 (一般財形、年金財形、住宅財形の合計)							
13 国債組合せ商品 (国債定期口座、ハイバック、ダブルなど)							
14 その他金融商品 (抵当証券、金貯蓄口座等)							
合 計 (1~14の総計)							100 %

問3 お宅の家計の現在の貯蓄残高についてどのように評価されますか。また、その評価のもとで今後の貯蓄方針についてどのようにお考えですか。それぞれについてあてはまるもの1つに○印をつけてください。

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| <p>現在の貯蓄残高<br/>についての評価</p> | <p>【今後の貯蓄方針】</p>                                    |
| <p>1 十分である →</p>           | <p>1 貯蓄残高を増やす<br/>2 現在の貯蓄残高を維持する<br/>3 貯蓄残高を減らす</p> |
| <p>2 不十分である →</p>          | <p>1 貯蓄残高を増やす<br/>2 現在の貯蓄残高を維持する<br/>3 貯蓄残高を減らす</p> |

問4-1 お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べると、次のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 非常に増えた →  → 問4-2にお答えください
- 2 若干増えた →  → 問4-2にお答えください
- 3 変わらない →  → 問4-2にお答えください
- 4 若干減った →  → 問4-3にお答えください
- 5 非常に減った →  → 問4-3にお答えください

問4-2 「非常に増えた」、「若干増えた」とされたお宅では、その理由は以下のどれでしょうか。あてはまるものいくつかでも○印を、もっとも大きな理由1つに◎印をつけてください。

- 1 勤労所得が増加した
- 2 勤労所得から貯蓄する割合を上げた
- 3 配当や金利収入があった
- 4 土地・住宅等実物資産の売却による収入があった
- 5 相続、退職金等による臨時収入があった
- 6 株式、債券価格の上昇によりこれらの評価額が増加した
- 7 その他

問4-3 「若干減った」、「非常に減った」とされたお宅では、その理由は以下のどれでしょうか。あてはまるものいくつかでも○印を、もっとも大きな理由1つに◎印をつけてください。

- 1 手取り収入が減ったので貯蓄をとり崩した
- 2 土地・住宅購入代金（頭金を含む）の支出があった
- 3 自動車、家具、家電等耐久消費財購入代金（頭金を含む）の支出があった
- 4 こどもの教育費用、結婚費用の支出があった
- 5 旅行、レジャー費用の支出があった
- 6 株式、債券価格の低下によりこれらの評価額が減少した
- 7 その他

問5 お宅では、貯蓄についてどのようにしてきましたか。次のうちあてはまるもの2つまで選んで○印をつけてください。

- 1 無駄をはぶいたり、節約に努力して、貯蓄をふやしてきた
- 2 パートタイム・アルバイトなどにより収入をふやして、貯蓄に努力してきた
- 3 きまった額を天引きして、貯蓄にふりむけてきた
- 4 臨時収入・ボーナスは、できるだけ貯蓄してきた
- 5 家計に余裕があったので貯蓄した
- 6 臨時の支出などのため、家計のやりくりが苦しくなったので、あまり貯蓄しなかった
- 7 貯蓄するために、特に努力しなかった
- 8 貯蓄はしないで、現在の生活を充実させた

問6 お宅では、貯蓄する種類をきめる場合どのような理由で選びますか。次のうちからあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。また、そのうちもっとも重点をおいているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 利回りがよく得だから
- 2 将来の値上がりを楽しみだから
- 3 元金が保証されているから
- 4 信用できて安心だから
- 5 現金にかえやすいから
- 6 少額でも預け入れ、引き出しが自由ができるから
- 7 その他

問7 お宅では、どのような目的で貯蓄しておられますか。次のうちからあてはまるもの3つまで選んで○印をつけてください。また、そのうち当面もっとも中心に考えているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 病気や不時の災害のときに備えるため
- 2 こどもの教育費にあてるため
- 3 こどもの結婚資金にあてるため
- 4 マイホーム（土地を含む）の取得または増改築などのため
- 5 老後の生活資金にあてるため
- 6 耐久消費財（自動車・家具・家電等）の購入資金にあてるため
- 7 レジャーの資金にあてるため
- 8 納税資金にあてるため
- 9 とくに目的はないが、貯蓄していれば安心だから
- 10 その他

問8 お宅では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標としていますか。また、貯蓄目標残高を目的別にみるとどうなりますか。下表にご記入ください。

貯蓄目標残高	千円	万円	十万円	百万円
うち				
こどもの教育資金				
こどもの結婚資金				
住宅資金				
老後の生活資金				
その他の目的				
目的なし				

問9 お宅では、以下A～Eのケースが生じた場合、どのように対応されますか。それぞれにつき、1、2、3のうちあてはまるもの1つに○印をつけてください。

手取り収入から貯蓄する割合をこれまで以上に増やす	手取り収入から貯蓄する割合は変えない	手取り収入から貯蓄する割合をこれまでよりも減らす
--------------------------	--------------------	--------------------------

- Ⓐ 手取り収入の増加 → 1 2 3
- Ⓑ 物価の上昇 → 1 2 3
- Ⓒ 金利の上昇 → 1 2 3
- Ⓓ (土地、株式等を所有しているお宅のみ) 所有している土地、株式等の値上がり → 1 2 3
- Ⓔ (土地、住宅の購入計画のあるお宅のみ) 土地・住宅価格の値上がり → 1 2 3

問10 本年4月の非課税貯蓄制度の改正（いわゆるマル優等の廃止）後、お宅では貯蓄についてどのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 貯蓄する額を減らす
- 2 貯蓄する額は変えない
- 3 貯蓄する額を増やす

問11 上記非課税貯蓄制度の改正後、お宅では既存の貯蓄について商品間の預けがえをされましたか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 預けがえをした
- 2 今後預けがえをする
- 3 預けがえはしない

（世帯主が満65歳以上のお宅のみ）

問12-1 お宅では、老人に対する非課税貯蓄制度の対象者は何人おられますか。

（注）63年4月以降も、年齢満65歳以上の老人の方、遺族基礎年金の受給者である被保険者の妻、寡婦年金受給者、身体障害者手帳の交付を受けている方等は、非課税貯蓄制度の対象となりますが、ここではこのうちの年齢満65歳以上の老人の方の人数をご記入ください。

人

（世帯主が満65歳以上のお宅のみ）

問12-2 お宅では、老人に対する非課税貯蓄制度を利用しておられますか。下記の種類別にお答えください。また、利用しておられる場合は、お宅での制度対象者全員の利用額合計を種類別にご記入ください。

- イ 老人に対する少額貯蓄非課税制度  
（銀行等の預貯金や公社債などを対象）  
（限度枠1人当り 300万円）
- 1 利用している → [制度対象者全員の利用額合計]  
 千  百  十  万円
- 2 利用していない

- ロ 老人に対する少額公債非課税制度  
（国債、地方債を対象）  
（限度枠1人当り 300万円）
- 1 利用している → [制度対象者全員の利用額合計]  
 千  百  十  万円
- 2 利用していない

- ハ 老人に対する郵便貯金非課税制度  
（郵便貯金を対象）  
（限度枠1人当り 300万円）
- 1 利用している → [制度対象者全員の利用額合計]  
 千  百  十  万円
- 2 利用していない

問13-1 お宅では、家計のための借入金（月賦の未払金は含まれますが、1～2カ月後に支払うクレジットカード利用、ツケ買いによる未払金は除きます）がありますか。どちらかに○印をつけてください。

- 1 借入金がある → 問13-2、13-3、13-4、13-5  
にお答えください
- 2 借入金がない → 問14-1に進んでください

（借入金のあるお宅のみ）

問13-2 お宅での家計に関する現在の借入金の残高および内訳を下表にご記入ください。

合 計	借入金残高				うち住宅ローン			
	千円	万円	十万円	百万円	千円	万円	十万円	百万円
うち 公的住宅専門金融機関 (注1)								
その他金融機関(注2)								
販売会社、クレジット会社 等(注3)								
貸金業者(サラ金、質屋)								
勤 め 先								
知 人、 親 せ き								
そ の 他								

- (注1) 住宅金融公庫、年金福祉事業団、年金住宅福祉協会など。
- (注2) 銀行、相互銀行、信用金庫、農漁協、郵便局、保険会社、住宅金融会社など。
- (注3) 自動車、家電などの販売会社、百貨店、量販店、信販会社等を含む。

（借入金のあるお宅のみ）

問13-3 前記借入金に関してこの1年間の返済額はどのくらいありましたか。

返 済 額 合 計				うち住宅ローン			
千円	万円	十万円	百万円	千円	万円	十万円	百万円

（借入金のあるお宅のみ）

問13-4 現在の借入の主な目的は何ですか。次のうちからあてはまるもの3つまで選んで○印を、そのうちもっとも金額の大きいものに◎印をつけてください。

- 1 病気や不時の災害のため
- 2 こどもの教育費のため
- 3 こどもの結婚資金のため
- 4 マイホームの取得や新增改築・修理のため
- 5 家具・家電製品などの購入のため（月賦払を含む）
- 6 自動車購入のため（月賦払を含む）
- 7 株式等金融資産投資のため
- 8 相続税対策のため
- 9 レジャーのため
- 10 日常生活資金のため
- 11 その他

（借入金のあるお宅のみ）

問13-5 借入金返済のため家計へどのような影響がありましたか。次のうちからあてはまるものいくつか○印を、そのうちもっとも影響の大きかったもの1つに◎印をつけてください。

- 1 貯蓄する額をへらした
- 2 食費・衣料費・光熱水道費など日常生活費をきりつめた
- 3 耐久消費財（家電・家具など）の購入を見送った
- 4 レジャー資金をきりつめた
- 5 交際費・教養娯楽費をきりつめた
- 6 家計への影響はほとんどなかった
- 7 その他

問14-1 お宅ではクレジットカードを利用しておられますか。あてはまるものに○印をつけてください。

- 1 クレジットカード → 問14-2、14-3  
を利用している → にお答えください
- 2 クレジットカード → 問15-1に進んでください  
を利用していない

（クレジットカードを利用しているお宅のみ）

問14-2 お宅では現在クレジットカードを何枚保有しておられますか。また、一年間の利用額はどれくらいですか。

〔保有枚数〕			〔一年間の利用額〕				
百	十	一	千	万	十	万	千

枚 円

（クレジットカードを利用しているお宅のみ）

問14-3 お宅ではクレジットカードをどのように使っておられますか。またその理由についてあてはまるものいくつか○印をつけてください。

- 1 積極的に使っている
  - (理由) 1 欲しいものがすぐ手に入るから
  - 2 持ち歩く現金を少なくできるから
  - 3 支払を後にずらすことにより手持資金を有効に活用できるから
  - 4 その他
- 2 積極的には使っていない
  - (理由) 1 衝動買いをしたくないから
  - 2 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから
  - 3 紛失等による危険があるから
  - 4 その他

問15-1 お宅では将来のため生活設計を立てていますか。

- 1 立てている → 問15-2にお答えください
- 2 現在は立てていないが、これから立てるつもり
- 3 現在立てていないし、これから立てるつもりはない → 問15-3にお答えください

（生活設計を立てているお宅のみ）

問15-2 お宅の生活設計は何年くらい先までを考えて立てていますか。

- 1 1～2年先まで
- 2 3～5年先まで
- 3 10年程度先まで
- 4 20年程度先まで
- 5 それ以上先まで

（生活設計を立てないお宅のみ）

問15-3 生活設計を立てない理由について、次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 将来のことはわからないので、立ててもそのとおりにならないから
- 2 立てかたがわからないから
- 3 めんどうだから
- 4 立てなくても何とかなるから
- 5 その他

問16-1 お宅では家計簿をおつけになっていますか。

- 1 つけている → 問16-2、16-3にお答えください
- 2 つけたり、つけなかったり
- 3 つけていない → 問16-4にお答えください

（家計簿をつけているお宅のみ）

問16-2 家計簿のつけ方はどのようにしていますか。次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 合計額だけ記帳し、予算管理は行っていない
- 2 合計額だけ記帳し、予算管理も行っている
- 3 項目別に記帳し、予算管理は行っていない
- 4 項目別に記帳し、予算管理も行っている

（家計簿をつけているお宅のみ）

問16-3 クレジット、月賦、自動振替などの記帳はどうしていますか。次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 家計簿に支払予定時点と支払予定金額を記帳している
- 2 家計簿に支払予定時点や支払予定金額は記帳していない
- 3 クレジット等は利用していない

（家計簿をつけていないお宅のみ）

問16-4 家計簿をおつけにならない理由について、次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 ある程度の支出整理はしているから
- 2 つける暇がないから
- 3 めんどうだから
- 4 つけていてもお金のいる時にはいるのだから
- 5 つけ方がわからないから
- 6 その他

問17 お宅では、節約についてこの1年間どのようにしてきましたか。次のうちからあてはまるものいくつか○印を、とくに重点をおいているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 食費をきりつめた
- 2 より広い住宅への転居などを見送った
- 3 マイホームの増築や改修などを手控えた
- 4 光熱・水道の節約につとめた
- 5 衣料品・身の回り用品を買うことを手控えた
- 6 耐久消費財（家具・家電等）を買うことを手控えた
- 7 本代や映画・演劇などの支出を節約した
- 8 マイカーを手放した
- 9 レジャーや外食をへらした
- 10 こづかいをへらした
- 11 交際費をへらした
- 12 とくに節約はしなかった
- 13 その他

問18-1 お宅では現在どのような住居にお住いですか。次のうちあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 ご自身が購入した家屋・マンション
- 2 相続または贈与をうけた持家
- 3 親または親族の家に同居
- 4 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 5 公団・公社・公営の賃貸アパート
- 6 官舎・社宅
- 7 間借、その他

→ 問19にお進みください

→ 問18-2にお答えください

(マイホームを取得していないお宅のみ)

問18-2 お宅では、世帯主の方が何歳の時に、マイホームを取得する予定ですか。次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳以上
- 6 親からの相続等によるので、いつになるかわからない
- 7 マイホームの取得計画は今のところ考えていない
- 8 将来ともマイホームを取得する気持はない

(マイホーム取得の予定のあるお宅のみ)

問19 マイホーム取得に必要な資金総額はどのくらいですか。また、資金計画はどのようにお考えですか。  
○必要資金総額（買い換えの場合は新旧物件の価額差ではなく、新規取得物件の総価額をご記入ください）

万円

○資金計画

自己資金 → 万円

借入金 → 万円

(世帯主の年齢が満60歳未満のお宅のみ)

問20-1 お宅では老後の家計（暮らし）についてどのようにお考えになっていますか。次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 心配していない
- 2 不安はあるが、それほど心配していない
- 3 どうなるか心配である
- 4 非常に心配である

→ 問20-2にお答えください

→ 問20-3にお答えください

(老後を心配していないお宅のみ)

問20-2 老後の家計について心配しない理由として、次のうちからいくつでも選んで○印を、そのうちもっとも大きな理由1つに◎印をつけてください。

- 1 貯蓄があるから
- 2 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは思われないから
- 3 年金（公的年金、恩給、企業年金など）や保険があるから
- 4 退職一時金があるから
- 5 再就職など収入を得られる見込みがあるから
- 6 不動産収入（借地料・家賃など）が見込めるから
- 7 こども等からの援助が期待できるから
- 8 その他

(老後を心配しているお宅のみ)

問20-3 老後の家計について心配している理由として、次のうちからいくつでも選んで○印を、そのうちもっとも大きな理由1つに◎印をつけてください。

- 1 十分な貯蓄がないから
- 2 物価が上昇し生活の見通しが立たないと思われるから
- 3 年金（公的年金、恩給、企業年金など）や医療保険では十分でないから
- 4 退職一時金が十分でないから
- 5 再就職など収入を得られる見込みがないから
- 6 こども等からの援助が期待できないから
- 7 その他

(世帯主の年齢が満60歳以上のお宅のみ)

問21 お宅では、いまの家計についてどのようにお考えですか。次のうちからあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 家計はゆとりがあり、心配なく暮らしている
- 2 家計はあまりゆとりがないが、それほど心配なく暮らしている
- 3 家計はゆとりがなく、不安に思っている
- 4 生活は非常に苦しい

(世帯主の年齢が満60歳以上のお宅のみ)

問22 現在のお宅の生活費の元手について、次のうちからあてはまるものいくつでも○印をつけてください。

なお、そのうちもっとも大きい収入に◎印をつけてください。

- 1 利子・配当所得、個人年金
- 2 貯蓄のとりくずし
- 3 公的年金、恩給、企業年金
- 4 不動産収入（借地料、家賃など）
- 5 仕事につき働いて得ている収入
- 6 こども等からの援助
- 7 国や市町村などからの公的援助
- 8 その他

問23 老後を豊かに不安なく暮らしていくために必要と思われる事項は何だと思えますか。次のうちからあてはまるものにいくつでも○印を、もっとも重要と思うもの1つに◎印をつけてください。

- 1 公的年金制度の拡充
- 2 高齢者に対する雇用機会の確保
- 3 物価（土地・住宅価格を含む）の安定
- 4 老人医療制度（老人病院、定期健康診断等）の拡充
- 5 公的、私的老人介護施設・サービス（老人ホーム、ホームヘルパー等）の拡充
- 6 老後に備える貯蓄優遇措置
- 7 地域住民相互のふれあい、相互交流の場の確保
- 8 身体が不自由となった人のための各種設備（車いす用の通路、非常用通報システム等）の整備
- 9 その他

問24 お宅では、お子さんのこづかいをどのようにしていますか。それぞれの学齢区分ごとにお答えください。

○小学生（1～2年）

1 金額をきめ、まとめて渡す

平均月額 → 円

こづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

2 必要のつど渡している  
3 全く渡さない

○小学生（3～4年）

1 金額をきめ、まとめて渡す

平均月額 → 円

こづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

2 必要のつど渡している  
3 全く渡さない

○小学生（5～6年）

1 金額をきめ、まとめて渡す

平均月額 → 円

こづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

2 必要のつど渡している  
3 全く渡さない

○中学生

1 金額をきめ、まとめて渡す

平均月額 → 円

こづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

2 必要のつど渡している  
3 全く渡さない

○高校生

1 金額をきめ、まとめて渡す

平均月額 → 円

こづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

2 必要のつど渡している  
3 全く渡さない

問25 生活や貯蓄に関し、いくつかの意見を述べた文章があげてあります。お宅ではそれぞれについてA、B 2つの意見のうちどのようなお考えをお持ちですか。もっとも近い番号に○をつけてください。

	1	2	3	4	5	
A	だ	ど	だ		B	
	い	ち	い			
と	た	ら	た		と	
	い	と	い			
思	A	も	B		思	
	と	い	と			
う	思	え	思		う	
	う	ない	う		う	

1 (A) 物価が安定していれば収入がそれほどふえなくてもよい

1 2 3 4 5

(B) 物価がある程度上昇しても収入がそれ以上にふえる方がよい

2 (A) 物価が上昇すれば、先行き不安だから貯蓄を一層ふやす

1 2 3 4 5

(B) 物価が上昇すれば、早目に物を買った方が得だから、貯蓄するより消費をふやす

3 (A) 将来のことを考えて計画的に貯蓄・生活すべきだ

1 2 3 4 5

(B) 将来のことをいろいろ心配するより、現在の生活を楽しく暮らすべきだ

4 (A) 公的年金だけにたよれないので老後に備えて貯蓄をふやす必要がある

1 2 3 4 5

(B) 公的年金があるので老後に備えてとくに貯蓄をふやす必要はない

5 (A) 借金(クレジットカードの利用やサラ金を含む)はいつか返さなくてはならないのだから、なるべく借りないのがよい

1 2 3 4 5

(B) 借金は便利なものだから、大いに活用してもよい

〔付 問〕

ここで少しお宅のことについておたずねします。ご記入くださいますことからはすべて合計した統計数字として表わしますので、お宅のことが外に漏れたりすることはありませんからありのままをお答えください。

問1 ご自分も含めてお宅のご家族は何人ですか。あてはまるところに○印をつけてください。

- 1 2人
- 2 3人
- 3 4人
- 4 5人
- 5 6人
- 6 7人以上

問2 世帯主の方の年齢をうかがいます。満年齢であてはまるところに○印をつけてください。

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳～64歳
- 6 65歳～69歳
- 7 70歳以上

問3 お宅の家族全体の最近1年間における手取り(税引き後)収入金額は、つぎのどれにあたりますか。あてはまるところに○印をつけてください。

- 1 150万円未満
- 2 150万円～ 200万円未満
- 3 200万円～ 250万円未満
- 4 250万円～ 300万円未満
- 5 300万円～ 350万円未満
- 6 350万円～ 400万円未満
- 7 400万円～ 450万円未満
- 8 450万円～ 500万円未満
- 9 500万円～ 700万円未満
- 10 700万円～ 1,000万円未満
- 11 1,000万円～ 1,500万円未満
- 12 1,500万円～ 2,000万円未満
- 13 2,000万円以上

問4 最後にお宅の世帯主の方のご職業はつぎのどれにあたりますか。あてはまるものに○印をつけてください。

- 1 農 林 漁 業
- 2 自営商工・サービス業
- 3 事務系の勤め人
- 4 労務系の勤め人
- 5 管 理 職
- 6 自 由 業
- 7 そ の 他